

プロローグ

はじまりはヘルマンハープとの出会いから

2

第1章 ドイツで誕生したヘルマンハープ

誰もが弾けるヘルマンハープのしくみ

16

ダウン症のあるアンドレアスの誕生

19

メロディーを弾ける楽器を探して

21

楽譜から生まれたヘルマンハープ

23

楽譜からいよいよ楽器の開発へ

26

ヘルマンハープ誕生！

27

ヘルマンハープの美しさのみなもと

29



ヘルマン少年と音楽との出会い

家族の夢から、人々の夢へ

ヘルマンさん率いる世界初のヘルマンハーブのアンサンブル

38 34 32

第2章 ヘルマンハーブとの運命の出会い

音楽の都、ウィーンのこと

はじめにしたかった仕事

娘の闘病

ヘルマンハーブとの出会い

ヘルマンさんに会いに

偶然の話

初めて聴いたヘルマンハーブの演奏会

「あなたの子どもをいただいたような気がした」

59 57 56 53 51 48 46 42



第3章 ウィーンの施設で生まれた決意

「新しい先生が来たぞ！」

神様が作りたかったのはどちらの世界？

「私はハーブが弾けるのよ！」

ウィーンの高齢者はカフェに行く

「利用者はあなたのことが好きでした」

62

65

68

71

74

第4章 カフェ・ワイマールで練った事業計画

ヘルマンハーブで弾くための曲

自分で自分に資格を与えるために

事業のテーマは「ドイツが贈る音楽のバリアフリー」

ヘルマンハーブの日本普及を許された日

ヨーロッパで始めた起業の準備

ウィーンのバラが咲くころ

78

81

83

86

90

93



第5章 8 置ひと間の日本総販売代理店

お手本のない事業のはじまり

ヘルマンハーブに持たせた「母子手帳」

ヘルマンハーブが運んでくれた声

社会の中でのヘルマンハーブ

110 105 101 98

第6章 世界初のメソッドの誕生

ハンカチの原理

ヘルマンハーブをよいブランドに育てるために

ほんとうは聞きたくなかった話

ドイツで開催した奏法講習会


ヘルマンハーブ教室のアイデンティティを作る

本物の楽器の証明

ヘルマンハーブの独り立ち

135 132 129 126 122 120 116





第7章 大切なものはなんでもないところで生まれる

音楽のバリアフリーを体現するというミッション

大切なものはなんでもないところで生まれるんだよ

あとがき

143

140 138

